



SET-UP INSTRUCTIONS

設置方法

WARNINGS

注意・警告

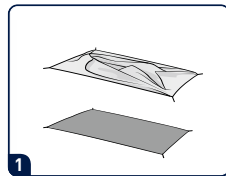
CARE INSTRUCTIONS

お手入れ方法

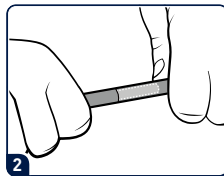


CLASSIC MODE クラシックモード

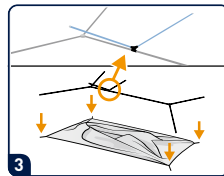
クラシックモードは、様々な気象条件に対応するフルプロテクションモードです。



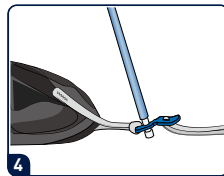
1
テントを傷つける枝や石を地面から取り除き、インナーテントを敷きます。フットプリントがある場合はインナーテントの下に敷いて下さい



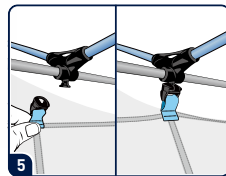
2
ポールを組み立てます。接続部は奥まで完全に挿入して下さい



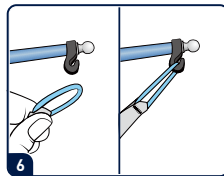
3
インナーテントの各コーナーをベグダウンし、テンションリッジがV字になる状態にポールを配置します



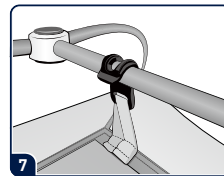
4
ポール末端をインナーテントの金属製フットの穴に差し込みます。ポール末端の色と同じ色のフットに差し込むと正しく設営できます



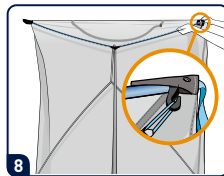
5
インナーテント中央にあるH断面形状のクリップをテンションリッジのハブに取り付けます



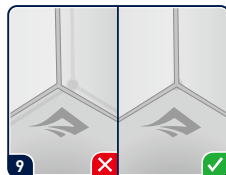
6
ループをテンションリッジポールに取り付けます



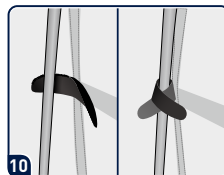
7
ポールに各フックを取り付けます



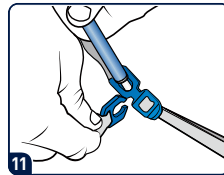
8
フライシートのポケットにテンションリッジポールの末端を差し込みます。ブルタブを引くと差しやすいです



9
フライシートの縫い目がポールの位置に沿うようにフライシートの位置を調整します



10
フライ裏側のベルクロでフライシートをポールに固定します



11
フライシート側の金属製フットをインナーテント側の同色のフットと接続し、ストラップを引いて張りを調整します



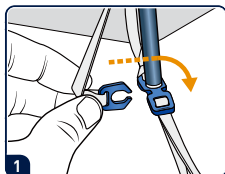
前室部のフライシートをベグダウンし、たるみがないよう各コーナーのストラップを引いて調整します

FEATURE DETAILS

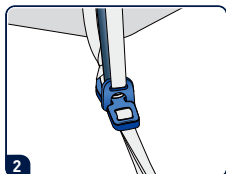
細部の特長

クイックコネクトフットの接続方法

インナーフットとフライフットの接続

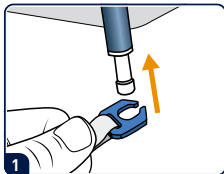


1
インナーフットのくびれた箇所にフライフットのC字の切れ目を差し込みます

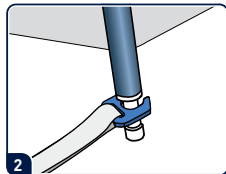


2
フライフットを回転させて抜けないようにし、ストラップを引いてテンションを加えます

フライフットとポールの接続



1
フライフットにポール先端を差し込みます



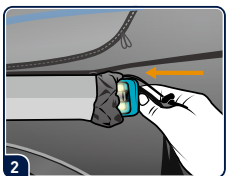
2
必要に応じてストラップを引いてテンションをかけて下さい

フェアシェアストレージシステム : その他の特長

ライトバー



1
ポールのストレージバッグに設けられたボタンをインナーテント天井部のボタンに接続します

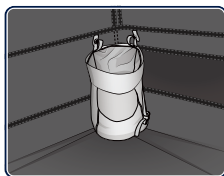


2
ストレージバッグの両端にヘッドランプを入れます



3
ライトバーの完成!

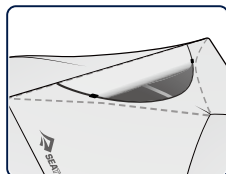
ストレージバケット



各ストレージサック内側のボタンをインナーテントの角に設けられたボタンに接続します

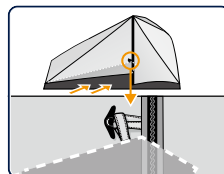
ベンチレーション操作

エイペックスベント



風向きや気象条件に応じて開口部の開き具合を調節できます

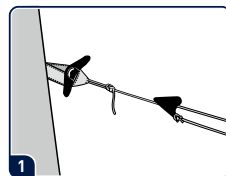
ベースラインベント



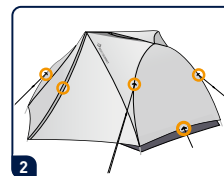
前室ドアのファスナーを開き、ループをトグルに固定します

グラウンドコントロール・ガイコードの取り付け

ガイコードの固定



1
必要に応じて、フライシートに設けられたガイループにガイコードを接続します



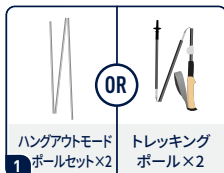
2
風の状況や風向きに応じて、適した位置のガイループにガイコードを接続して下さい



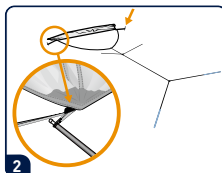
HANGOUT MODE

ハンガアウトモード

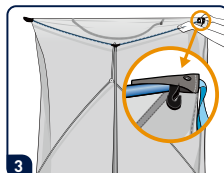
テロスには特許出願中のハンガアウトモードを搭載。トレッキングポール2本またはカスタムフィットのハンガアウトモードポールセットを使い、フライシートをセミオープンシェルターにできます。



設置にはハンガアウトモードポールセットまたは長さ約120cmのトレッキングポール2本が必要です



フレームを組み立て、頭側のフライシートをポールに取り付けます



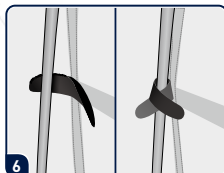
テンションリッジポールをフライシートの専用ポケットに差し込みます



テントポールを持ち上げて曲線状に曲げます



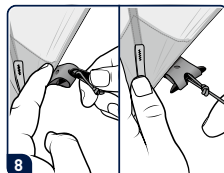
フライシートを引き寄せ、フライシートにポール末端を差し込みます



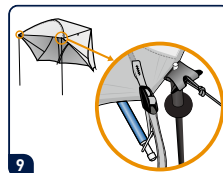
フライ裏側のベルクロでフライシートをポールに固定します



フライシートの頭側をペグダウンし、たるみのないようストラップを引いて下さい



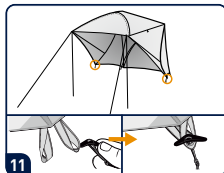
長い方のガイコードのトグルを、フライシートの足側に設けられたタブに差し込みます



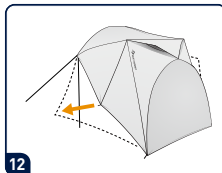
ハンガアウトポールまたはトレッキングポールの先端をタブに差し込みます



ハンガアウトポールまたはトレッキングポールを垂直に立て、ガイコードをしっかりとペグダウンします



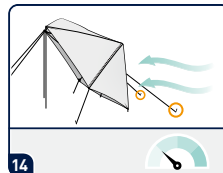
短い方のガイコードのトグルを前室ドア末端に設けられたループに取り付けます



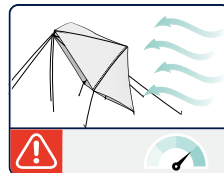
前室はできるだけ外側へ張り出します



前室から伸びるガイコードをペグダウンします



状況に応じて、フライシートに設けられたガイループに追加のガイコードを取り付けて下さい



強風時はハンガアウトモードで設営しないで下さい



PARTIAL FLY MODE

パーシャルフライ
モード

天候急変時に素早くフライシートをセットできるモードで、安心して星空を眺めながら就寝できます。通り雨の後にサッとフライシートを巻き上げて通気を高めることもできます。フライシートは頭側、足側、両方同時、いずれの方法でも巻き上げられます。

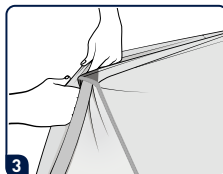
足側のフライの巻き上げ



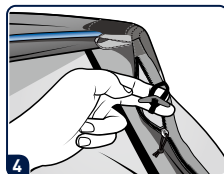
1 足側のインナーフットに接続されているフライフットを外します



2 テンションリッジポールに向けてフライシートを巻き上げます



3 巻き上げたフライシートをテンションリッジの上まで引き上げます



4 巻き上げたフライシートはトグルで固定します



完了です

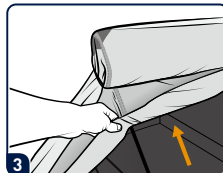
頭側のフライの巻き上げ



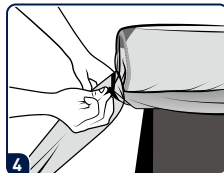
1 頭側のインナーフットに接続されているフライフットを外します



2 テンションリッジポールに向けてフライシートを巻き上げます



3 テンションリッジまでフライシートを巻き上げます



4 巻き上げたフライシートはトグルで固定します



完了です

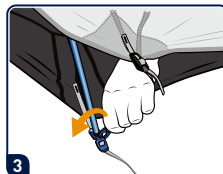
頭側、足側フライの再セット



1 フライシートを固定しているトグルを外します



2 フライシートを降ろします



3 フライフットをインナーフットに接続します



4 反対側も同様に戻します



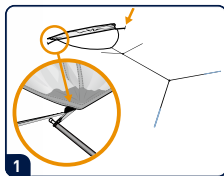
完了です



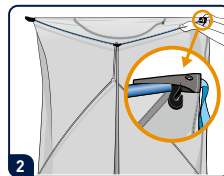
DRY SET-UP

ドライセッアップ

雨天時はフライシートだけ先に設営できるので、インナーテントを濡らさずに張ることができます。



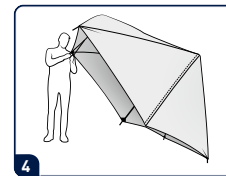
1 フレームを組み立て、頭側のフライフットをポールに取り付けます



2 テンションリッジポールをフライシートの専用ポケットに差し込みます



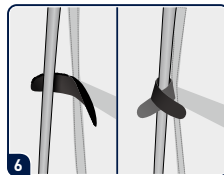
3 テントポールを持ち上げて曲線状に曲げます



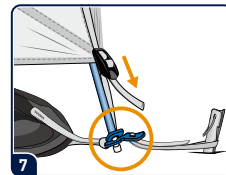
4 フライシートを引き寄せ、フライフットにポール末端を差し込みます



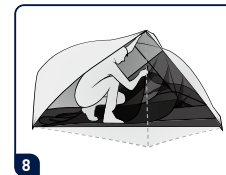
5 フライシートの縫い目がポールの位置に沿うようにフライシートの位置を調整します



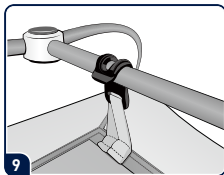
6 フライ裏側のベルクロでフライシートをポールに固定します



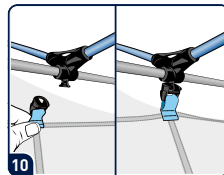
7 ポール末端をインナーフットの穴に差し込んでペグダウンし、ストラップを引いてテンションを調整します



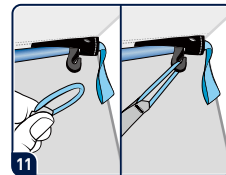
8 フライシートの中に入り、インナーテントの設営をします



9 ポールに各フックを取り付けます



10 インナーテント中央にあるH断面形状のクリップをテンションリッジのハブに取り付けます



11 ループをテンションリッジポールに取り付けます



完了です

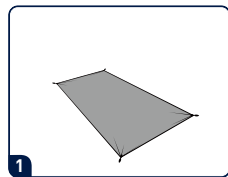
FLY ONLY MODE

フライオンリーモード

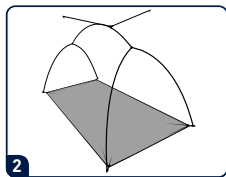
天候が予測できない場合のファスト&ライトな利用に適したモードです。フットプリントと組み合わせて設営することも可能です。



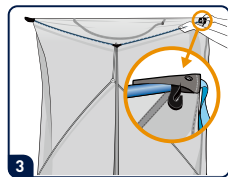
フットプリントを使用する場合



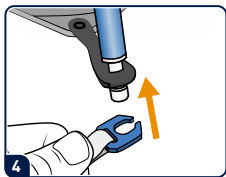
1 テントを傷つける枝や石を地面から取り除き、フットプリントを敷きます



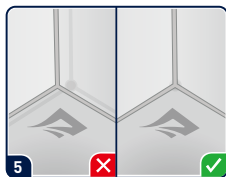
2 ポールを組み立て、ポール末端をフットプリントの角に差し込みます



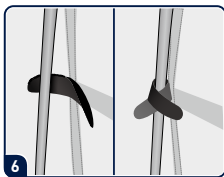
3 フライシートのポケットにテンションリッジポールの末端を差し込みます。プルタブを引くと差しやすいです



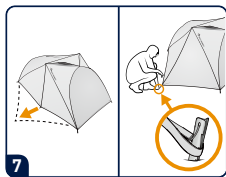
4 ポール末端をフライフットに差し込みます。ポール末端の色と同じ色のフライフットに差し込んで下さい



5 フライシートの縫い目がポールの位置に沿うようにフライシートの位置を調整します

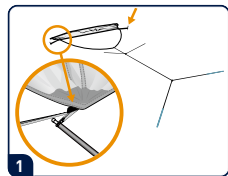


6 フライ裏側のベルクロでフライシートをポールに固定します

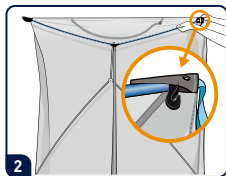


7 前室部のフライシートをベグダウンし、その他のポイントもベグダウンします

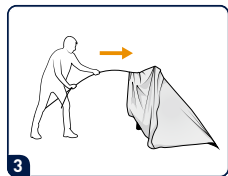
フットプリントを使用しない場合



1 フレームを組み立て、頭側のフライフットをポールに取り付けます



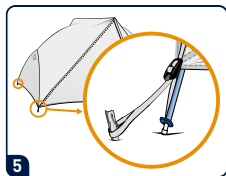
2 フライシートのポケットにテンションリッジポールの末端を差し込みます。プルタブを引くと差しやすいです



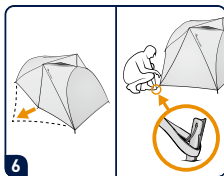
3 テントポールを持ち上げて曲線状に曲げます



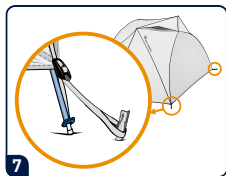
4 フライシートを引き寄せ、フライフットにポール末端を差し込みます



5 フライシートの頭側をベグダウンし、たるみのないようストラップを引して下さい



6 前室部のフライシートをベグダウンします



7 残りをベグダウンします



テンションリッジの利点

特許出願中の"テンションリッジ"により、広い頭上スペース、高いドア、優れた温度/湿度コントロールを達成。20年以上もの間、ほとんどの軽量テントは下向きのクロスバーを採用していましたが、"テンションリッジ"ではクロスバーが上向きになり、抜群の高さと使いやすい内部空間を実現します。

より高い天井高

広い頭上スペースの内部空間は背の高い方や厚めのスリーピングマットにも対応でき、居住性を向上させています。

垂直に立ち上がるサイドウォール

"テンションリッジ"は、閉塞感がある強傾斜のサイドウォールをなくし、高めのピローを利用しても十分余裕がある就寝空間を生み出します。

エイペックスベント

最上部にベンチレーションを設けることで、立ちのぼる熱気や湿気を効果的に排出。高い換気効果と優れた空調を実現し、結露も抑えます。

高く大きいドア

テントの出入りがしやすく、広々とした景色を愉しめます。

この取扱説明書に記載された警告にご不明な点がある場合は、テントをご使用になる前に以下までご連絡下さい。

輸入販売元：株式会社ロストアロー

〒112-0012 東京都文京区大塚3-4-7 茗溪ビル

ウェブサイト: www.lostarrow.co.jp Eメール: ec@lostarrow.co.jp

PID:155239



NO FIRES



VENTILATION



ANCHOR



SURROUNDINGS

警告

火気厳禁：

- ・テント内またはテントのそばでバーナー類や焚き火などの火気を使用しないで下さい。
- ・テント内では、バーナー類、ランタン、ヒーター、その他の熱源の燃料補給、点火、使用を行わないで下さい。
- ・一酸化炭素中毒や重度の火傷による負傷や死亡の恐れがあります。
- ・テント内には可燃物や燃料を保管しないで下さい。
- ・焚き火の風下にテントを設営しないで下さい。
- ・就寝前やテントから離れる際には焚き火を消火して下さい。
- ・テント内で喫煙しないで下さい。
- ・出入口付近は片づけておきましょう。
- ・テントに異物を付着させないで下さい。テント素材の難燃性を低下させる恐れがあります。

換気：常にテント内の換気を行って下さい。窒息死の恐れがあります。

アンカー：テント本体の損失の恐れや、使う方が怪我する恐れがあるため、付属のアンカーポイントを全て使ってテントをしっかりと固定して下さい。

環境：テント本体の損失の恐れや、使う方が怪我する恐れがあるため、設営地の選定の際には、落石や木の枝、鉄砲水、雪崩、落雷、強風など、客観的な危険性の全てを慎重に考慮して下さい。

取扱上のご注意

このテントは、専門性の高いアクティビティ用に高い技術が詰まった製品です。最高の性能を長く保つためには、注意深い使用・メンテナンス・保管が求められる、上質な超軽量生地を使用しています。可能であれば別売のフットプリントを使って鋭利なものから防水フロアを保護し、フロアが傷ついたり穴があいたりしないようにして下さい。必ず全てのアンカーを確実に固定して下さい。テントに付着した泥や雪をこすり落とす際、硬いものや尖ったものは使わないで下さい。合成繊維製のテント生地は、紫外線により

劣化します。特に紫外線の強い環境では、長時間日光にさらさないことでテントの寿命が延びます。紫外線による損傷は保証対象外です。油脂類、日焼け止め、防虫剤、その他溶剤含有化合物との接触を避けて下さい。化学物質が原因の損傷は保証対象外です。

クリーニング

洗濯機や乾燥機を絶対に使用しないで下さい。部分洗浄にはぬるま湯とスポンジをお使い下さい。全体はテント専用の洗剤を使って水道水で洗って下さい。防水透湿生地には、Grangers製の洗剤をおすすめします。お湯、漂白剤、柔軟剤、食器洗浄機用洗剤

の使用やつけ置きはしないで下さい。乾燥の際は絞らず陰干して下さい。長期保管の際は事前によく洗って乾かして下さい。カビの原因になるので、汚れや湿気のある状態のままテントを保管しないで下さい。カビによる損傷は保証対象外です。

修理

ポールと生地の損傷に対応する基本的な修理キットが全てのテントに付属しています。



手洗いのみ



絞らないで下さい



陰干して下さい



乾燥機を使用しないで下さい



アイロンをかけないで下さい

Rev.STAD0D